



大村サイバー防護分遣隊

沿 革

令和8年3月23日、海上自衛隊における情報、通信および気象の任務を統合した「情報作戦集団」が新編され、大村サイバー防護分遣隊は、サイバー防護群佐世保サイバー防護隊の隷下部隊として改編され、新たな一步を踏み出しました。

大村サイバー防護分遣隊は、大村航空基地内に所在しています。



大村サイバー防護分遣隊長

令和8年3月23日着任 3等海佐 福本 義大

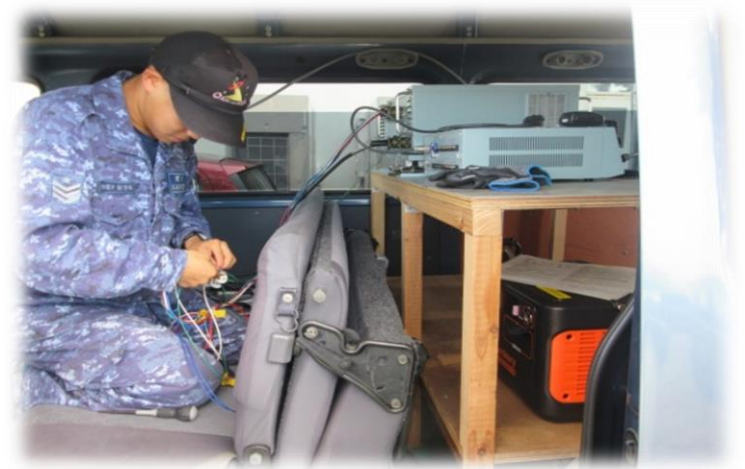
新編された大村サイバー防護分遣隊は、大村航空基地におけるサイバー領域を担う部隊として、全力で任務に邁進してまいります。

今後とも大村サイバー防護分遣隊の活動に対し、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



大村サイバー防護分遣隊の任務

- ・ 大村航空基地所在部隊への通信支援
- ・ 基地内ネットワークの維持管理
- ・ 基地内の電話交換業務
- ・ 基地内の無線検査事務
- ・ サイバー攻撃等対処業務





ロゴマークについて



- ・ ロゴマークの全体像として「和(輪)」がテーマであり一丸となった強固な日本の部隊であることを表現
- ・ 龍は大村基地所在部隊全ての部隊のロゴマークとして採用されているシンボルであることから、所在部隊として一体感を得るとともに、古くから神聖な生き物として、力、保護、成功などの象徴であり、サイバー空間の守り神としてイメージさせる。
- ・ 大村湾の入口である西海橋を線画で表現しデジタルネットワークの流れをイメージさせるとともに、晴天時に視認できる針尾の無線塔で無線通信を表現
- ・ 大村市の市花に指定されている大村桜を取り入れ、気高さと優美さを表現